

2019年 第80回応用物理学会秋季学術講演会

大分類17ナノカーボン シンポジウム

ナノカーボン・原子層物質の新展開 と将来展望

ナノカーボン分野(ナノチューブ、グラフェン、原子層物質)において、近年急速に発展し日本人の貢献が著しいトピックについて最新の研究動向を基礎からわかりやすく解説し、将来展望を議論します。

2019年9月20日(金)13:30～

北海道大学 札幌キャンパス

一般講演も受け付けています

招待講演者 (敬称略、仮題目)

- | | |
|-------------|---|
| 大野 雄高(名大) | カーボンナノチューブ電子デバイスの進展と将来展望 |
| 河野 行雄(東工大) | ナノカーボン材料によるフレキシブル・ウェアラブル
テラヘルツ帯カメラ
ー産業・医療における新規非破壊・非侵襲検査ー |
| 前橋 兼三(農工大) | グラフェンデバイスを用いたバイオセンシング |
| 小川 新平(三菱電機) | 高感度グラフェン赤外線センサの開発 |
| 宮内 雄平(京大) | カーボンナノチューブ・原子層物質の励起子光物性と
その応用 |
| 井手上 敏也(東大) | 原子層物質における非相反伝導 |

世話人：神田 晶申(筑波大)，林 賢二郎(富士通研)，根岸 良太(阪大)，
野内 亮(大阪府立大)，乗松 航(名大)，守谷 頼(東大)